



大阪市会議員の福田武洋です。日頃から種々のご指導・ご鞭撻を賜り心から御礼申し上げます。大阪市政や旭区政の発展・充実のため、これまで以上に様々な諸課題に対し積極的に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

大阪市会議員
<無所属>

たけひろ
福田 武洋

発行:2022年11月24日

2025年大阪・関西万博の成功に向けて しかし、現状は課題が山積 それは、建設費の問題

I. 万博会場建設費

- 当初の計画1,250億円から**1,850億円**に増加(2020年12月)
- 会場建設費は国・大阪府市・経済界が**3分の1ずつ費用を負担**
- 昨今の円安・物価高の影響もあり、**建設費はさらに上振れ**が危惧される。

物価高騰等の影響で**入札不成立等**が相次ぐ

- 海外からの賓客を迎える迎賓館 27億円
- 「いのちを知る」がテーマのパビリオン 12億円
- 参加国による「ナショナルデー」を実施する小催事場 27億円
- コンサートや歌舞伎の開催を行う大催事場 47億円



会場バース

予定価格の見直しもしくは設計変更
全て入札不調



大阪パビリオン外観イメージ

II. 大阪パビリオン建設費

- 当初、パビリオン建設費は74億円で計画
- 公募型プロポーザルで2社が参加予定であったが1社が辞退。そのため、竹中工務店1社のみの参加となり、提案価格はなんと195億円。
- 本来であれば不調で再公募すべきところ、スケジュール的に万博開幕に間に合わないとの理由でそのまま竹中工務店に決定。
- VE提案等を加味しても111億円となり、補正予算が上程されることになった。

設計段階における積算見込みの甘さが主な原因。これ以上のコスト増は認められないため、自民党・市民クラブ大阪市会議員団の提案で、さらなるコスト縮減に努めるよう付帯決議を付して補正予算を可決。引き続き、建設費に関しては注視していくことに。

議会レポート

令和4年3月、大阪IR・カジノ関連議案 →維新・公明の賛成多数で可決

これまで大阪IR誘致に向けた調査費等の議案には賛成してきましたが、最終的に大阪IR・カジノ関連議案について、私は議会人として**反対**しました。

理由

① 大阪IRに公金790億円が投入される

理由

② 中核施設MICEの条件変更

理由

③ 来場者数や経済効果の数字が信用できない

それ以外にも問題が…



それは、「**基本協定書**」の存在

① 今回は地盤沈下対策費が含まれておらず、今後、事業者から依頼があれば更なる負担を強いられることに。

② コロナ等の影響により事業環境が整わなければ、IR事業者はいつでも撤退できる。

→IR事業者にかなり有利な内容となっている。(主導権は事業者側となっている)

大阪IR計画は当初の想定が外れ、1社のみの公募となり、事業者有利な状況での交渉が終始進められてきた。

結果、公金790億円を投入することに。

今回の公金負担により、今後、夢洲2期・3期の開発においても更なる負担が増えていくことは必至。

港湾会計だけでは対応できず、一般会計から繰り入れ(市民負担が増大)することになることが予想されます。

結局

大阪府・大阪市の計画の甘さを感じる。過去の大坂におけるバブル期の失敗、負の遺産を作ってきた状況と同じことを今やっている。

～旭区政 90周年～

令和4年10月1日に旭区が区制90周年を迎えます。



ASAHI
**HOT
NEWS**

○旭区域の変遷

1889年(明治22年)

市制町村制施行【大阪市発足】

現在の旭区は東成郡に属し、清水・古市・城北村もこの頃に成立する。

東成郡が東成区として大阪市域に編入される。【大大阪時代】

東成区から分離して旭区(現城東区と鶴見区を含む)が設置される。

【大阪市 15区制】→ **ここから90年**

旭区の南部を城東区へ(現在の城東区と鶴見区)、西部の一部を

都島区へ分離、鳴野町弁天島(現在の中央区城見)を東区へ編入。

(大阪市 22区制)→現在の旭区域となる

旭区は、「地下鉄・京阪電車・JRおおさか東線・大阪シティバス・あさひあつたかバスによる高い交通利便性」、「淀川の豊かな自然」、「商店街や地元企業」、「保育所・幼稚園から大学まで」、社会資本が充実し、環境が整った成熟した街と言えます。これからも**安心して住みつけられる あたたかいまち 旭区**の街づくりに、引き続き取り組んでまいります。

市政のご相談

どんな身近なことでも気軽にご相談ください。

大阪市会議員
<無所属>

福田 たけ ひろ 武洋

プロフィール

1977年5月17日生 同志社大学 経済学部卒
(主な役職)・自民党・市民クラブ大阪市会議員団 副幹事長
・大阪民社協会 副会長
・旭区私立保育園協議会 会長
・元 旭青年経営者協議会 会長 など



事務所 〒535-0013 大阪市旭区森小路1丁目10-11
TEL.(06)6956-3939 FAX.(06)6956-6078
Mail : 3939@fukuda-takehiro.jp
H P : http://fukuda-takehiro.jp

